

## 植田正治 写真と俳句

— シリーズ〈おくのほそ道〉を中心に —

平成26年6月7日(土) — 9月7日(日)

1988年、植田正治は、雑誌(『太陽』1989年1月号)の企画で東北、北陸を旅し、松尾芭蕉(1644-1694)の「おくのほそ道」をテーマに撮影しています。

依頼による撮影ではあったのですが、同行した編集者が驚くほど、旺盛な好奇心で意欲的に取り組んだようです。「月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人なり」ではじまる紀行文学の古典の世界を辿りながら、植田は自身の写真人生を重ねあわせたことでしょう。作品は、後年、俳人・黒田杏子さんの解説で『「おくのほそ道」をゆく』(小学館、1997年)としてまとめられています。

近年、写真と俳句を組み合わせて楽しめる方が増えているようです。このようなコラボレーションは、今まで気がつくことのなかった写真の見方、撮り方、そして楽しみ方を私たちに気づかせてくれるように思えてなりません。



シリーズ〈おくのほそ道〉より 1988年

ご来館の際には町民無料招待券をご利用ください。

◆開館時間：9：00～17：00（最終入館は16：30）

◆休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

問い合わせ先 伯耆町立植田正治写真美術館 ☎39-8000

メール bijyutsukan@houki-town.jp

ホームページ <http://www.japro.com/ueda/>

松本	奥田	谷口	氏名
陸	翔大	愛香	
男	男	女	性別
寿家子	奈美	千加	保護者
大	大	口別所	住所



### 町民無料招待券

本券をご利用ください。

### 植田正治 写真と俳句

— シリーズ〈おくのほそ道〉を中心に —

平成26年6月7日(土)～9月7日(日)

9:00～17:00(最終入館は16:30) 火曜日休館(祝日の場合は翌日)

※本件1枚ご持参で1世帯様無料でご覧いただけます。

伯耆町立植田正治写真美術館

伯耆町須村353-3 ☎39-8000 FAX 68-3600